

### 7.3 GLOBAL（グローバルメニュー）

GLOBALメニューにアクセスするには、GLOBALスイッチを押します。このメニューに入っている間、GLOBALスイッチは点灯したままになります。



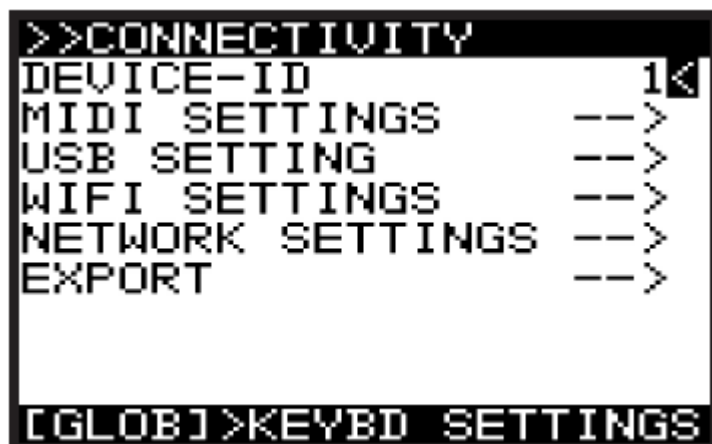
ディスプレイにGLOBALメニューが表示されます

DeepMindには演奏時に使うバンク/プログラムのデータを収めたEEPROMとバックアップ用にフラッシュメモリーを搭載している  
フラッシュメモリーには工場出荷時のファクトリープログラムが収められているが、書き換えが可能  
書き換えてしまうと、DeepMind単体では工場出荷時の状態に戻せなくなる

バックアップにはフラッシュメモリーへの転送と  
システムエクスクルーシブ転送でPC上に行う方法とがある

## ----- Deep MindとPC(あるいは他のDeep Mind)間でエクスクルーシブデータを転送する方法

### 7.3.1 接続性



このメニューには、プログラムやデータのバックアップと復元を含む、外部機器との接続と通信に関するすべての設定があります。

**EXPORTメニュー** - このメニューには、DeepMind I2のSysEx EXPORTメニューの設定が含まれています。

**注：**DeepMind I2を使用する場合、データのバックアップは重要な要素です。これにより、プログラミングの安全なコピーを保存し、用途に応じて設定を管理し、作業内容を他のユーザーと共有できます。

これを行うためには、SysExファイルを送受信することができるあなたのコンピュータ用のMIDIユーティリティが必要になります。このユーティリティを使用すると、DeepMind I2からSysExファイルを受信し、それらをコンピュータに保存してから、これらのファイルをDeepMind I2にエクスポートして戻すことができます。PCの例としては "MIDI OX"、Macの場合「SysExライブラリアン」です。

1. SysEx EXPORTメニューにアクセスするには、CONNECTIVITYメニューが表示されるまでGLOBALスイッチを押します。EXPORT行の '<'記号が強調表示されていることを確認してください。次に+ / YESスイッチを押すと、SysEx EXPORTメニューが表示されます。



- DESTINATION** - このオプションは、DeepMind I2 SYSTEM EXCLUSIVE (SysEx) メッセージの通信モードを設定します。
  - MIDI** - SysExメッセージは、シンセサイザー背面のMIDIソケットから送信されます。
  - USB** - SysExメッセージはUSBホストに送信されます。
  - WiFi** - SysExメッセージはWiFi接続に送信されます。
- DUMP TYPE** - このオプションはエクスポートできるデータの種類を設定します。以下から選択できます。
  - Prog** - 単一のプログラム。
  - バンク** - 128のプログラムの全体のバンク。
  - EditProg** - EDIT BUFFERの中のプログラム、つまり現在作業中のプログラム。

- Glob** - GLOBAL設定。場所、活動、または要件に応じて異なる設定が必要な場合に便利です。
- UserPat** - アルペジエーターからの32のUSER PATTERNのいずれか。
- EditPat** - EDIT BUFFERに保存されている現在のパターン、すなわち現在作業中のプログラムで割り当てられているパターン。
- AllPat** - すべてのユーザーパターン。
- All** - すべてのバンク、プログラム、パターン、およびグローバル設定。
- CalData** - 校正ルーチンからのデータ。
- コード** - コードを設定したデータです。
- P-Chord A** - あなたが設定して現在のPOLY CHORDバンクに保存したさまざまなPOLY CHORDです。この例ではバンクAです。別のPOLY CHORDバンクを保存したい場合は、POLY EDITスイッチを押したままソフトスイッチでバンクを変更します。
- お気に入り** - 作成して保存したお気に入りのプログラムのリスト。

•**DUMP BANK** - 利用可能な8つのプログラムバンク（A-H）の中から適切なBANKを選択できます。このオプションはエクスポート時にのみ利用可能です。

•**SOURCE** - ここで適切なPROGRAMまたはPATTERNを選択できます。このオプションはエクスポート時にのみ利用可能です。

•**SysEx DUMP (EXPORTING)** - このオプションが選択されている間に+ / YESスイッチを押すと、選択されたオプションに基づいてEXPORTが開始されます。書き出す前に、コンピュータでMIDIユーティリティを実行し、MIDI SysExファイルを受信（インポート）するように設定する必要があります。ファイルがコンピュータにエクスポートされると、後で呼び出せるように保存できます。

2. SysEx EXPORTメニューを終了するには、GLOBALスイッチを押してCONNECTIVITYメニューに戻ります。CONNECTIVITYメニューを終了するには、PROGスイッチを押してメインプログラミング画面に戻るか、GLOBALを押してKEYBOARD SETTINGSメニューに切り替えます。

## SysExエクスポートの例

以下の詳細は、SysEx EXPORTメニューを使用してファイルをコンピュータにエクスポートする例を示しています。

**注：**以下の情報は、2つの一般的なMIDIユーティリティを使用したSysExエクスポート手順の一般的な概念を示していますが、詳細はソフトウェアによって異なり、予告なく変更または変更されることがあります。会社名およびソフトウェア名はそれぞれの所有者の商標または登録商標である可能性があり、これらはここに認められます。

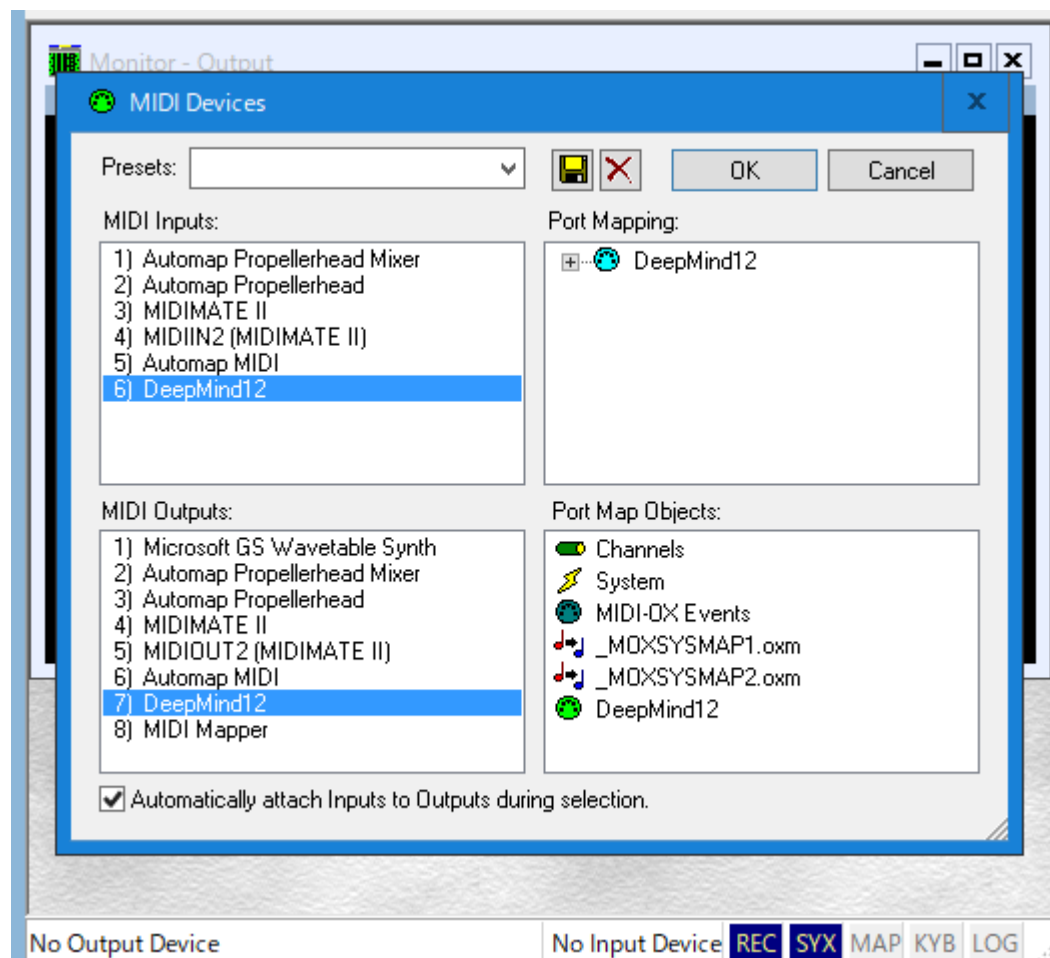
(フリーソフト) MIDI-OX



を使用する場合 (Windows PC) :

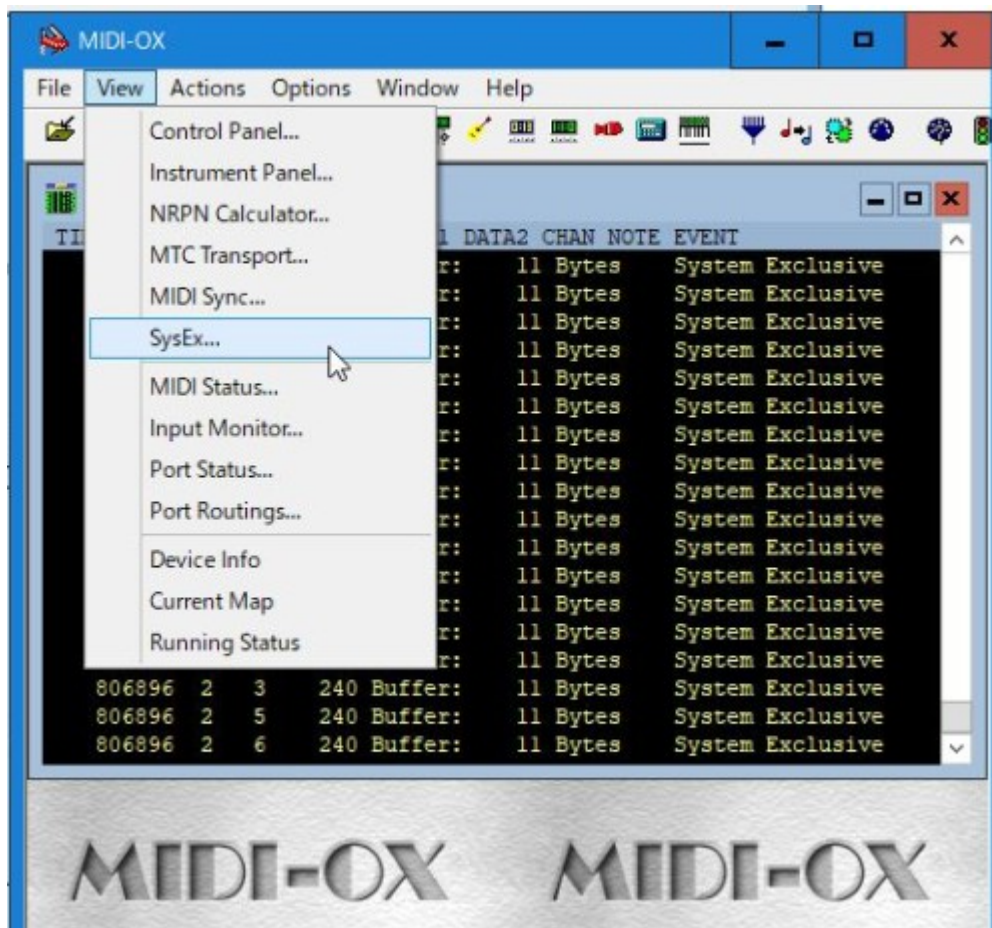
<http://www.midiox.com/>

1. USBケーブルまたはMIDIインターフェースを使用してDeepMind 12をPCに接続します。
2. MIDI OXを開き、[オプション]ドロップダウンメニューから[MIDIデバイス]を選択します。
3. 入力デバイスおよび出力デバイスとしてDeepMind 12を選択します。(または使用している場合はメニューから適切なMIDIインターフェースを選択します)。

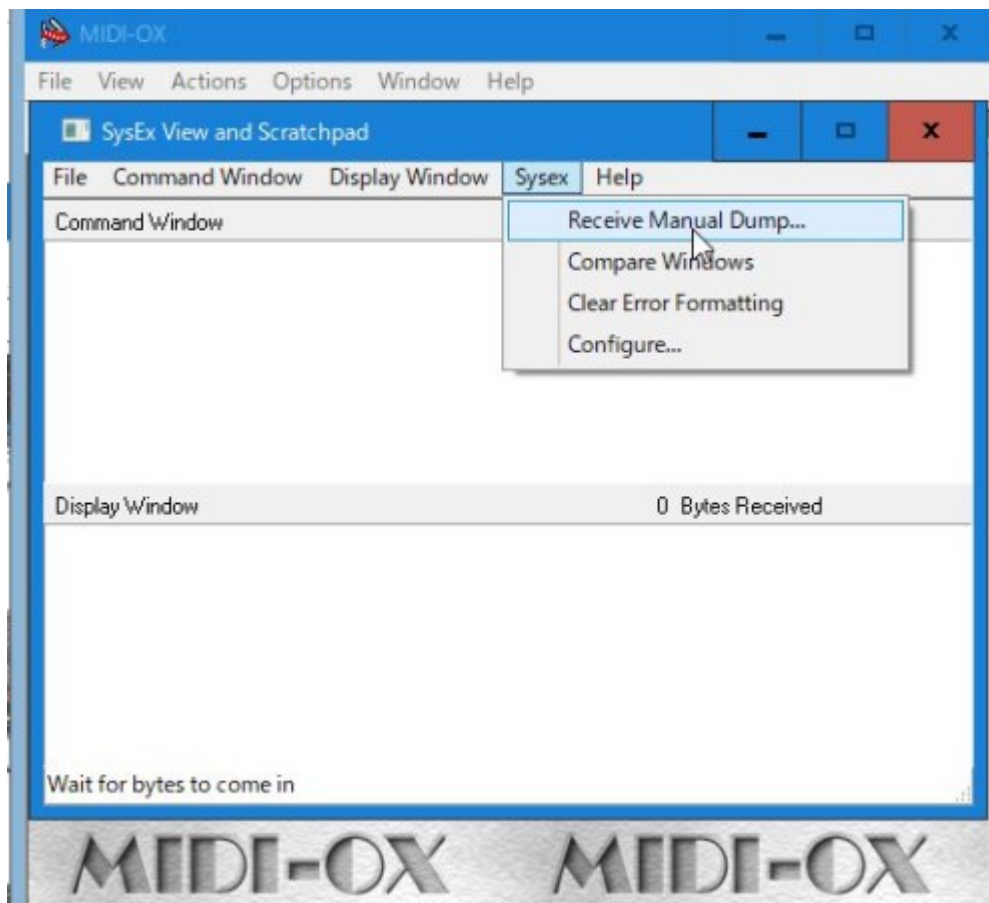


4. DeepMind 12の[SysEx EXPORT]メニューで、[MIDI]や[USB]などの[DESTINATION]を選択します。
5. DeepMind 12の[ダンプタイプ]メニューで、エクスポートする項目を選択します。
6. SysEx-DUMPに移動しますが、まだ+ / YESスイッチを押さないでください。

7. MIDI OXを使用して、表示ドロップダウンメニューからView SysEx...を選択します。

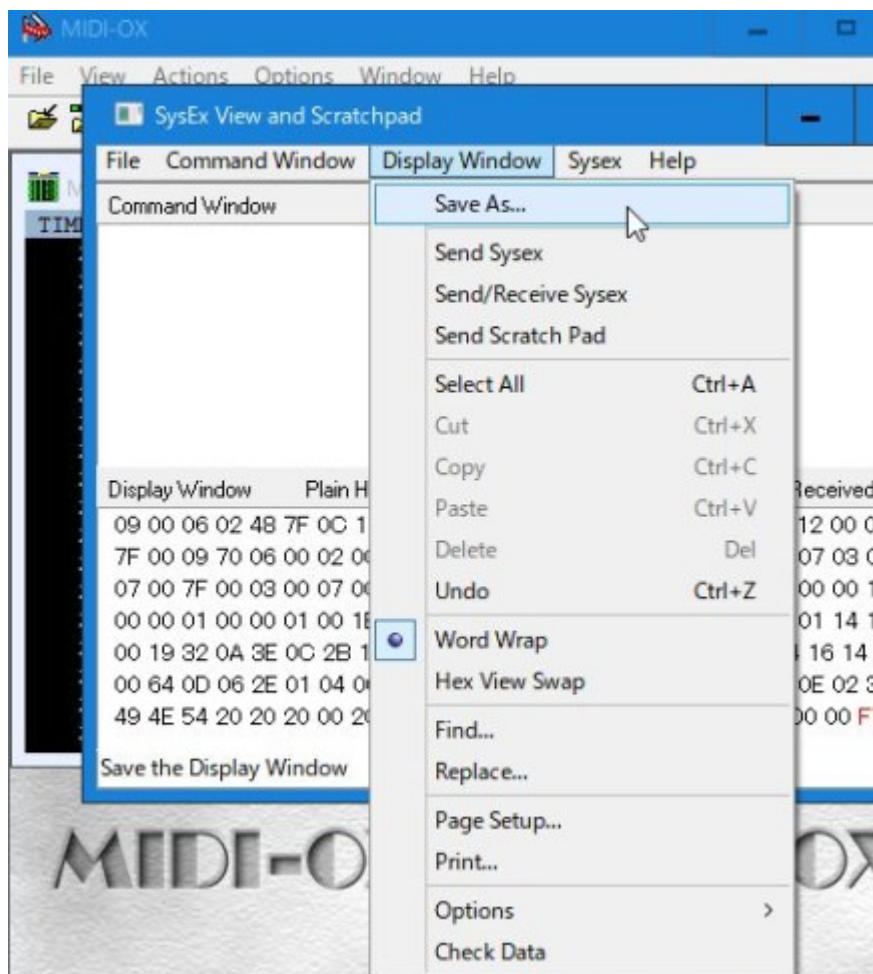


8. 新しく開いたウィンドウで、SysEx -> Receive Manual Dump...を選択します。



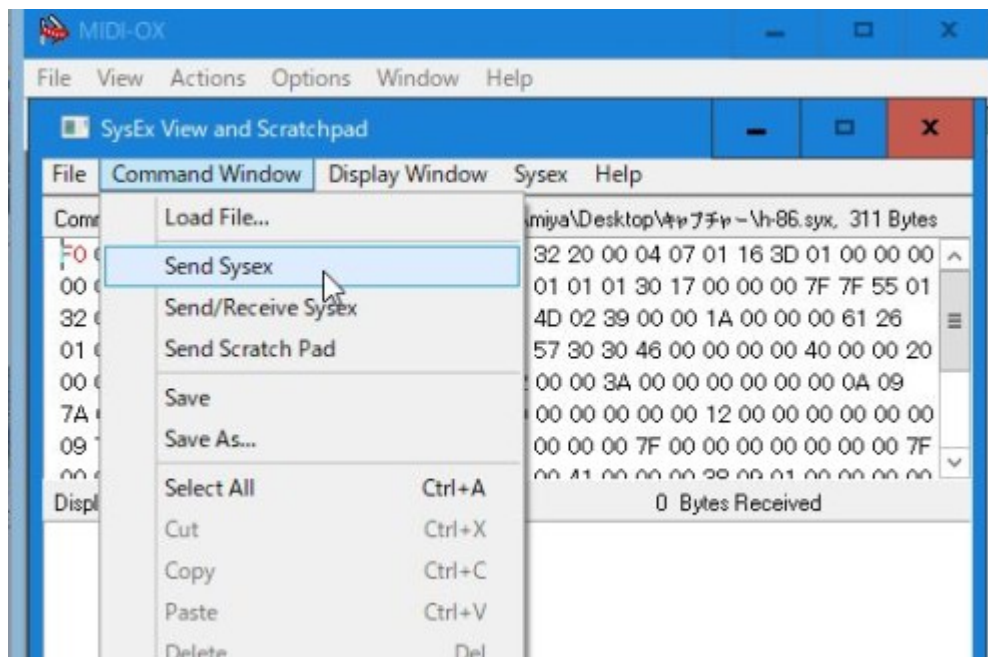
9. DeepMind I2で、ファイルを送信するために '+ / YES'スイッチを押します。


10. MIDI OXが情報をキャプチャして表示します。[表示ウィンドウ]ドロップダウンメニューから[名前を付けて保存]を選択し、SysExダンプを適切な名前で保存します。



- \* SysExファイルをPCからDeepMindにエクスポートする場合は、MIDI OXのウインドにファイルをドラッグアンドドロップで読み込み、  
表示ドロップダウンメニューの"command Windows">"Send Sysex"で、DeepMindにエクスポート開始

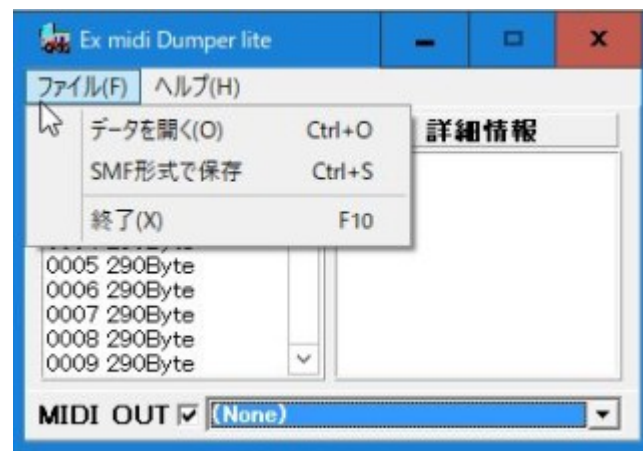
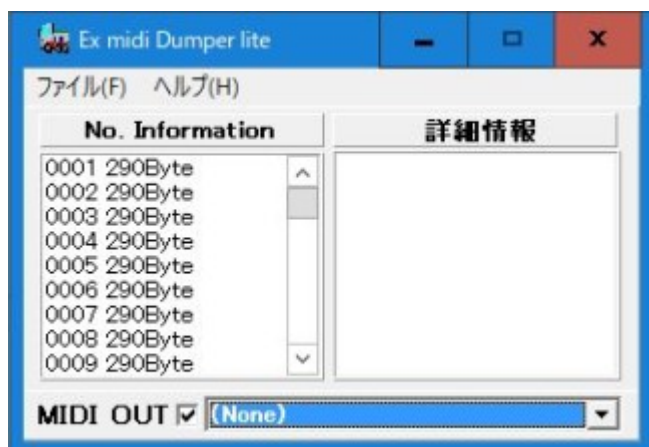




SysExファイルを（フリーソフト） Ex midi Dumper Lite/exdpltd.exe  で S M F 形式 (\*\*\*.mid)に変換

<https://www.vector.co.jp/soft/win95/art/se094789.html>

\*SysExファイルを汎用性の高い S M F 形式 (\*\*\*.mid)に変換することで、ネットへのアップロードや、一般的なMIDI再生ソフトからDeepMindへのデータ転送が容易になります。



\* ファイル(F) から「データを開く」でSysExファイルを読み込み、「SMF形式で保存」で S M F 形式でファイル保存



---

## フラッシュメモリーへのバックアップデータの書き込み・読み出し

7.3.5システム設定 - バージョン、ファン速度、キャリブレーション、バックアップを含むすべてのシステム設定。

### BACKUP (バックアップメニュー)

システム設定メニューの最後の項目はバックアップです。

```
>>SYSTEM SETTINGS
HOST-VER      0.94-ef81
VOICE-VER     0.94-ef81
DSP-VER       0.94-ef81
BOOT-VER      19
WIFI-VER      2.7.0.0
FAN-SPEED     88
CALIBRATE     -->
BACKUP        -->⏏
[YES]> BACKUP
```

1. “BACKUP ->” が選択されているときに+ / YESを押すと、BACKUP MENUが表示されます。（“RESTORE BANK”行は最初のバックアップが行われた後にのみ現れます）。

```
>>BACKUP MENU
BACKUP PROGRAMS -->⏏
RESTORE BANK-A  -->
RESTORE BANK-B  -->
RESTORE BANK-C  -->
RESTORE BANK-D  -->
RESTORE BANK-E  -->
RESTORE BANK-F  -->
RESTORE BANK-G  -->
RESTORE BANK-H  -->
```

2. “BACKUP PROGRAMS”が選択されているときに+ / YESを押すと、確認ダイアログが表示されます。

・・・現在の全プログラムをフラッシュメモリー(初期状態は工場出荷時のデータが保存されている)に書き込み



- もう一度+ / YESを押すと、すべてのバンクのプログラムがEEPROMからフラッシュにコピーされ、「工場出荷時の」データが上書きされます。(工場出荷時のFactoryデータが消され、全バンクのプログラムがフラッシュメモリーに上書きされる)
- RESTORE-BANK-AからRESTORE-BANK-Hまでのいずれかの行が選択されているときに+ / YESを押すと、確認ダイアログが表示されます。・・・フラッシュメモリーから各バンクへプログラムの読み出し



- もう一度+ / YESを押すと、選択したバンクがフラッシュから復元されます。(選択した現在のバンクデータが消され、フラッシュメモリーの内容が、バンクに転送される)
- GLOBALを押してシステム設定メニューに戻り、もう一度押してPROGメニューに戻ります。

